

第6回
越前市健康21ウォーク
～2007.10.8～
コース案内図

- 5 km(ファミリーコース)
- 10 km(一般コース)
- 20 km(健脚コース)



皇子ヶ池 (10・20キロコース)
 雄略天皇の2人の皇子、後の第27代安閑天皇と第28代宣化天皇が誕生した際、産湯に使用したといわれる池があった場所です。現在の六角形の玉垣は天保元年、雄略天皇1300年祭を記念して再建造営されたものです。



小丸城跡 (5・10・20キロコース)
 織田信長の時代、佐々成政によって築かれた城跡。前田利家が一揆を討伐した様子を記した「文学丸五」が出土している。



受付スタート&ゴール
東運動公園 W.C. 湯茶



チェックポイント1 W.C. 湯茶
花篋公園



チェックポイント2 W.C. 湯茶
佐々木小次郎公園



佐々木小次郎公園
 (20キロコース折返し地点)
 剣豪、佐々木小次郎の像をシンボルに池や石舞台などが設けられ、さまざまな板の木が植えられ、情緒豊かな雰囲気につつまれています。



和紙の里通り (10・20キロコース)
 歩道に沿って流れる清流と、美しく植樹された木々が、やすらぎの空間を演出している。越前和紙の歴史を展示する和紙の里会館やオリジナル和紙がつくれるパピルス館は、この通りの両端に位置している。



越前の里味真野苑
 (5・10・20キロコース)
 四季折々の美しい花々を見ることができ、万葉集とも関わりが深く、万葉集の歌碑が比翼の丘にある。苑内には国の重要文化財である旧谷口家住宅がある。



味真野神社
 (5・10・20キロコース)
 雄略天皇を祀る神社として、昔から人々に親しまれている神社で、謡曲「花篋(はながたみ)」の記念碑がたてられている。毎年元旦には国の重要無形民俗文化財、越前万歳の初舞がおこなわれる。

こしの節 1500
継体大王即位千五百年記念事業
 『知るは楽しみなり』
 歴史も自然も、私たちの宝です。

表紙イラスト: 岸本ますみ(越前市在住)

いらないになったらリサイクルしてください。



越前の里(味真野苑)に建つ「花がたみ」の石像



田太神社(蓮草記)は継体大王即位を祝っておこなわれます